

アンケート結果

1

本セミナーの開催および講演テーマをご覧になられた時にどのような印象を受けましたか？

またどのような講演を期待されましたか？

- ・ 自分に関係のありそうなものを絞った講演。
- ・ 新しい風のような発見ができ、自分の視野の狭さを痛感させられるような、人生の厳しい話。
- ・ 業務でも関わりのあるT氏の講演。
- ・ ワクワクするような講演、ためになるというより行動したくなるような講演。
- ・ 漠然と何をすべきか、何をしたいのかと悩んでいたもので、自分にピッタリの講演。
- ・ あまり期待していなかった。
- ・ 叱咤激励するような講演。
- ・ 通常の業務では聴講する機会のないテーマであり、組合ならではの講演。
- ・ 閉塞感を感じる今の生活に新しい空気を吹き込んでくれそうな話。
- ・ 考え方を根底から覆させるような話。

2

特別講演「人の生き方（設計業 T氏 44才の場合）」をお聴きになった感想を記入下さい。

- ・ 話は朴訥としていたが、かえってそれが新鮮な感じがして好感を持った。
- ・ 押しつけがましくなく、講釈されるわけでもなく聞きやすかった。
- ・ 話自体はうまくなかったと思うが、内容は当社の事業と関係があったのでためになったと思う。
- ・ 30代で困ったこと、後悔していることなども聞きたかった。
- ・ 生活面、会社面でのT氏の教訓に共感した。
- ・ 20代・30代・40代と色々なことを（特に仕事に関して）やって来ている様でうらやましかった。
- ・ 自分がこれまで行ってきた事との違い、また日頃の考え方、目標、夢を持って過ごすなど、いろいろと考えさせられることが多くあった。現在の業務で目一杯の自分が少し恥ずかしく、情けないなあと感じた。
- ・ 人間関係の難しさに共感した。
- ・ 何事でも大切なことは誠実さ、素直さ、好奇心であるということなど教訓になった。
- ・ 淡々と話されていたが、実情はかなりきつかったはずであり、刺激を受けた。
- ・ 人生は「過程（プロセス）＝家庭」という言葉に共感した。
- ・ 「仕事が忙しいから資格が取れないというのは言い訳」は耳が痛かった。
- ・ T氏のこれまでの経歴が主で、正直なところ退屈だった。もう少し人生の転換期のドロドロしたようなところを聞きたかった。
- ・ ご本人の経歴、思い、生き方から人生に自分の意志が強く反映されていると感じた。惰性で生きているのではない。しかし、雰囲気の中には他人を追いやってしまう感じはなく、威圧感の無い人であった。講演で紹介された今までの人生を伺って、誠実に生きたいと思う。
- ・ 自分がやりたい仕事に転職ができ、うらやましく思う。
- ・ 計画的に資格を次々と取得しているのに感心した。「今までに何をやってきたか」ではなく「今、何ができるか」という徳岡氏の言葉を覚えておこうと思う。
- ・ 講師の転職の多さにはびっくりしたが、その

転職に関してはあまり共感できない部分があった。しかし、転職の過程で得られた資格をパワーとして現在の自分に役立てている姿がとてもうらやましく思う。

3

30代として今、何をすべきと考えましたか？

- ・これからの生き方を考えるいい機会になった。
- ・毎日を業務に流されるのではなく、ある一定の将来を見据えて自分を高めるように仕事をする必要があると思った。
- ・短期・中期・長期のプラン・ビジョンを持つよう心がけるべきと考えた。
- ・今までは自分のことしか考えなかったが、これからは家族のこと、会社のことを考えられるように生きたい。また、次の世代のために何をすべきかじっくり考え、行動したい。
- ・今、将来を見据え、ビジョンを描き、実行すべきであると感じた。
- ・何かをすべきと考えるが、まだ見つからない。
- ・会社が倒産しても困らないスキルを習得したい。
- ・精神的にも肉体的にも充実している年代であり、目標を持った仕事をすべきと感じた。
- ・より人間性を高めるための資格取得にチャレンジすること。
- ・専門分野についてより広く、深く知識と経験を重ねたい。
- ・よき理解者を見つけ、10年先を見つめ一生懸命ガンバル、社外の様々な人と出会う機会をつくる。

4

本セミナーの率直な感想をお聞かせ下さい。

- a . ためになり、おもしろかった : 47%
- b . まあまあ : 53%
- c . つまらなかった : 0%

5

本セミナーに参加され、ためになったことをご記入ください。

- ・ 普段無関心だった金融関連の講演がおもしろく、ためになったこと。
- ・ 短期・中期のスパンで自分の姿、業務の姿を考えるきっかけになったこと。
- ・ 業務では会うことのできない同僚と久しぶりに会うことができ、有意義な時間が過ごせたこと。
- ・ 金融の自由化が進んだことが分かり、世の中の変化が感じられたこと。
- ・ 久しぶりに同期入社や他部署の人と話げできたこと。
- ・ 講師を含め、多くの人とふれあい、つながりができたこと。
- ・ 職場の違う人の本音が聞けたこと。
- ・ これからの人生において何が重要かを教えていただいたこと。
- ・ 資産運用が身近な存在であることを実感できたこと。もう少し詳しく聴きたかった。
- ・ T氏の人生観、資格取得のコツなど参考になった。
- ・ 自分自身を見直す良い機会になったこと。
- ・ 中期ビジョンを明確化して足跡を確認しながら人生を歩むことが、生きがいにつながると気づかされたこと。
- ・ 「人との関係に垣根をつくっては、自分自身の進歩・成長はない」ということ。

6

職場環境が異なる同世代と親睦を深めることができましたか？

- a . できた : 90%
- b . できなかった : 10%

7

今後、労働組合として企画するセミナーに参加していただけますか？

- a . 是非参加したい : 37%
- b . 時間があれば参加したい : 53%
- c . わからない : 10%
- d . 参加しない : 0%

8

今後、行う各セミナーにどのようなことを期待されますか？

- ・知的向上を目指す趣向の教室。
- ・自分がインスパイアされるような内容。
- ・同世代だけでなく、若者から熟年までの幅の広い交流ができる機会。
- ・常識的な人の講演だけでなく、風変わりな人の話。
- ・意識改革についての講演。
- ・次のセミナーにも参加したいと思うことができ、他の人にも勧められるようなもの。
- ・タイムリーで各世代にあったもの。
- ・家族で参加できるセミナー。
- ・他事業部との交流を深める機会。
- ・がんばっている人の話。
- ・ふれあいたいわ活動。

9

労働組合の取り組み、活動について関心がありますか？

- a . 関心がある : 57%
- b . 少し関心がある : 20%
- c . 何とも言えない : 23%
- d . 全く関心がない : 0%

a、bとお答えの方に、どのような取り組み、活動に関心がありますか？

- ・仕事以外のものに目を向ける機会を提供してくれる取り組み。

- ・うらやましく思えるほど活発的な青年部の活動。

- ・各種手当制度に対する取り組み。

- ・今回のようなセミナー

- ・ふれあいたいわ活動。

- ・ボランティア活動。

- ・企画職掌社員の労働条件に関する取り組み。

- ・会社が今、出来ない体験づくり。

- ・賃金・一時金などに対する取り組み。

c、dとお答えの方に、関心を持ってない理由をお教え下さい。

- ・組合と組合員との交流が今まであまりなかったから。

- ・組合が何をやりたいか、方向性が見えない。

10

最近の職場、事業部、会社で思うこと、感じることがあればご記入下さい。

- ・不況の影響が当社にも押し寄せていること。

- ・仕事のやり方が効率的でないと感じるときがある。

- ・化工機事業部の将来について不安である。

- ・会社の将来を考えると不安でしょうがない。

- ・グチや噂が飛び交いマイナス思考になっていること。

- ・仕事をしていて充実感・達成感があまり感じられない。

- ・若手、中堅、管理職との技術継承、コミュニケーションがうまく図られていないこと。

- ・自分の知らない世界を知りたい。

- ・播磨製作所全体に蔓延している閉塞感、リーダーシップの欠如が気になる。

- ・各他部署での負荷の差が大きく、人員配置等を考慮して欲しい。

- ・いろいろな面で「行き詰まり」を感じていること。

- ・事業部のプレーンとなる人たちへも人員削減が進んでいること。

- ・仕事量が減少にともなう残業・休日出勤手当

などの収入が減っていること。

- ・OJTに頼る人材育成方法に疑問を感じる。
- ・経済情勢の影響はあると思うが、会社としての見通しが改善されていないことに不満を感じる。
- ・同期のいない途中入社組合員への配慮ももう少し必要だと思う。

11

最後に、今後、労働組合に期待することを記入下さい。

- ・家族ぐるみで参加できる企画。
- ・組合員とのコミュニケーションがもっと密になれること。
- ・会社全体が暗く、寂しい雰囲気の中で元気が出る活発な活動。
- ・多くの人に参加できるオープンな組合。
- ・誰もがやりがいの感じられる職場を作りたい。
- ・より詳細な会社の動向などの情報提供。
- ・企業運営に対する積極的なチェック。
- ・組合活動についてあまり知らない常・代議員以外の一般組合員にも、セミナーや研修会を通じもっと組合のことを理解してもらえよう活動してほしい。
- ・組合役員の若返りにより、より身近に感じられるようになった。
- ・会社の進む方向は、経営者だけでなく組合にも責任があり、今後の活動に期待する。
- ・メンタル面で成長できるようなきっかけづくり。
- ・「トリオイズム」をベースとし、何かを考えさせたり興味を持つきっかけとなるようなセミナーの開催。
- ・全組合員の代表として、がんばってほしい。

以上